

■破損時の対応

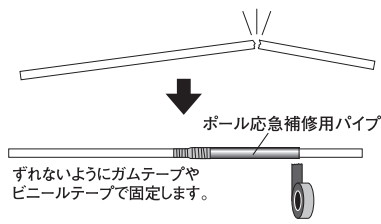
本テントが万一破損した際は以下の通り応急処置をしてください。
生地破損については別途リペアセットをご用意しております。

フレームが折れた際

ポール応急補修用パイプの使用

テント設置時には強風や豪雪などの理由によりポールが折れる場合があります。副木を添えて応急処置をすることもできますが、このテントの付属品であるポール応急補修用パイプを用いた応急処置も可能です。

下山後は販売店に修理を依頼してください。



■アフターケア

間違ったメンテナンスや保管方法はテントの寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干しして乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があります。また生地も劣化しやすくなります。
- 保管時に濡れた状態で長く放置すると、ブリーズドライテック™素材が色移りや、剥離する恐れがあります。良く乾かし、高温多湿な場所を避けて保管してください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- 長期の使用により、フライシートやグラウンドシートなどの撥水性性能（水を弾く力）が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、スームスライダー™やローソクのロウを塗ると回復します。

長期間使用しない時の保管方法

- テント本体やフライシート等を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋はきつめにたたまないで入らないため使用を避けてください。きつたたんだ状態で保管するとブリーズドライテック™素材に色移りしたり、折り目ができて防水透湿能力が低下する恐れがあります。
- ポールやベグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

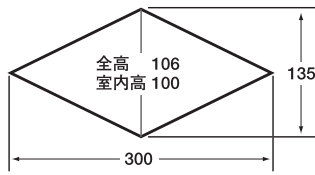
⚠️ 取り扱い注意

このテントに使用されているブリーズドライテック™という素材は、裏地となるトリコット素材が無く、フィルムが直接露出しているため、汚れや傷に対してデリケートな素材となっており、取り扱いには十分ご注意ください。
ご使用の状況により、テントの内側に細かい水滴が付着する場合があります。これはテント内の水蒸気が結露したもので漏水ではありません。

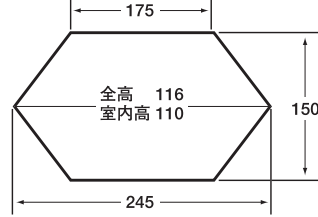
■重量および寸法

図中の単位はcmです。

●#1122332
ブリーズドライテック™ モノフレームシェルター ダイア
総重量1.07kg



●#1122333
ブリーズドライテック™ モノフレームシェルター ヘキサ
総重量1.37kg



モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町1-33-20
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544 フリーコール： ☎ 0088-22-0031
モンベル・ウェブサイト <http://www.montbell.com>

04-892-0606

BREEZE DRYTEC™ Mono frame Shelter Diamond & Hexagon



ブリーズドライテック™ モノフレームシェルター [ダイア] & [ヘキサ]

極めて高い携行性と抜群の通気性を誇る
超軽量シングルウォール・シェルター

BREEZE DRYTEC™ Mono frame Shelter

ブリーズドライテック™ モノフレームシェルター ダイア&ヘキサ

この度は「ブリーズドライテック™ モノフレームシェルター」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
このテントは、少しでも荷物を軽く小さくおさえたい方のために開発された、シングルフレーム&シングルウォール構造のテントです。抜群の携行性と通気性を誇り、ツーリングや無雪期の山行、沢登りなどのテントとして、また非常用のピバークシェルターとして最適です。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは弊社カスタマー・サービスまでお問い合わせください。この説明書は大切に保管してください。

■安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

テント使用上の注意

- テント本体生地は熱に弱い性質を持った合成繊維ですので、たき火やストーブなどが近づかないようお気をつけください。
- ストーブを使用する際は、ベンチレーターなどで必ず換気を行ってください。
- テントとして使用の際は必ずベグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたベグ等が別途必要です。
- テント設置地はできるだけ平坦地を選び、危険のない場所を選んでください。
- ナイロンは太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月張ったまま放置すると著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- ベンチレーターや出入口などの換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。

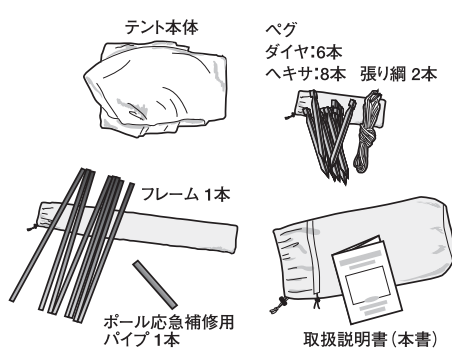
火気取扱いに関する注意

- 安全なキャンプのために以下に従ってください。
- 天井付近で火気調理等をしないでください。
- 調理器具等の使用は取扱説明書通り、安全に行ってください。
- 調理器具等に子供を近づけないでください。
- 出入口に物を置かないでください。
- 設置場の消火設備等を確認してください。

■仕様

実際にテントをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

構成部品および内容明細



【ダイア・ヘキサ】

- キャンピー:30デニール・ナイロン・リップストップ (ブリーズドライテック2レイヤー)
- グラウンドシート:40デニール・ナイロン・リップストップ (耐水圧2,000mmウレタンコーティング)
- フレーム
フェザーライトポール (ポール応急補修用パイプ1本つき)

■テント設営手順

新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、試し張りされることをおすすめします。

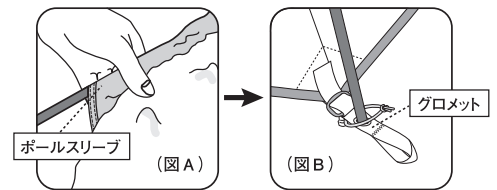
1・設営場所の選択

本テントは山岳用テントとして設計されています。テントの設営地に指定されている場所でも、大雪、台風などの強風や豪雨などの厳しい自然条件下では、十分に注意し設営してください。また後線上や大木、広い草原では落雷にも注意してください。
設営後、気象予報などで風が強くなりそうな情報があれば、石や雪を積み重ねてまわりを囲って防風壁を作ってください。
なお、設営前に出入口は風下側を選びます。冬場は北半球においては北西風が吹くことを考慮してください。

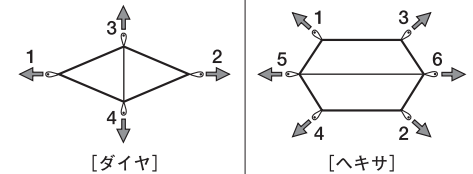
2・テント本体の組み立て

- (1) スタップバッグに入った構成部品を全て取り出し、スリーブのついている面を上にして広げます。強風時には、この時風でテントが飛ばされないよう注意してください。

- (2) フレームを中に通っているショックコード通りにジョイントを接続し組み立て、フレームをポールスリーブに差し込みます(図A)。この時フレームは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人がいないかを確認して下さい。反対側から出たフレーム先端を底部ナイロンテープのグロメット(構目)に固定し(図B)、フレームを湾曲させてもう一方の先端も固定します。



- (3) テント本体の各コーナーに設けられたループをベグ留めします。(この時、下図の順序でセットすると設営が容易になります。)
※付属のベグが使用できないガレ場や砂地では別売りのメッシュアンカーなどを用いて固定してください。



3・テントの固定

張り綱は風が吹くことを想定して必ず取り付けください。
ポールスリーブの2カ所から張り綱をとり、付属の張り綱にはランナー(自在金具)がついており、ランナーを通したループをベグ又は別売りのメッシュアンカーなどにかけて長さを調節します。

